

議会だより 入善

GIKAI

DAYORI

NYUZEN



6月定例会

にぎわった 舟見七夕まつり

平成11年度一般会計補正予算	2
一般質問～町政を問う(5議員)	4
常任委員会レポート	10
就任のごあいさつ	12
公共工事に係る入札制度改善	14
各種団体・傍聴席からひとこと	16

No.110

1999年7月27日
(平成11年)

発行/入善町議会

編集
 入善町議会広報編集特別委員会
 富山県下新川郡入善町入善3255
 ☎0765(72)1100 ㊟0765(72)4711

暑中お見舞い申し上げます。入善町議会



平成11年度一般会計補正予算

増設された緊急通報用電話機

緊急通報用 電話機を増設

在宅高齢者保健福祉推進支援事業は昨年までの日常生活用具支援事業から分離し、今年度から新規事業として創設された。

65歳以上の1人暮らしの方や身体に障害のある方等の生命や財産を守るため、緊急通報用電話機の配置に対する補助金を補正するもので、今回25台分を増設する。

(114万円)

国民健康 保険税率を 引き下げ

国民健康保険加入者の税負担軽減のため、所得割額の税率を引き下げる条例改正を賛成全員で可決した。

町の国民健康保険事業は、人口の高齢化を背景に年々増加をたどっていたが、昨年の外来診療費や薬価基準等の改正により、今年も昨年に引き続き医療費の支払負担が横ばい傾向となっていることから、税率の引き下げを行ったものである。

これにより町全体で600万円程度の減額、個人では平均1万1000円程

度の減額となる見込みである。税率は次のとおりである。

	平成11年度	平成10年度
所得割	総所得額の $\frac{7}{100}$	$\frac{8}{100}$
資産割	固定資産税額の $\frac{19}{100}$	$\frac{19}{100}$
均等割	1人当り 21,600円	21,600円
平等割	1世帯当り 23,400円	23,400円
限度額	53万円	53万円

新規担い手 農業者に補助

町のみならず全国的に新規就農者が減少している今日、農業に意欲ある者の育成を図るため、新規担い手規模拡大の支援をする補助事業が今年度より創設され、本町において3名の新規担い手農業者が該当することとなったため、補正するもの。

(2250万円)

6月定例会は、6月8日から17日までの10日間の会期で開かれた。一般会計を歳入歳出それぞれ1億4566万6000円を追加し、総額116億6228万2000円とした。

老人保健医療特別会計は1948万4000円を追加し、総額33億4038万4000円とした。

下水道特別会計、農業集落排水特別会計もそれぞれ補正した。

歳出の概要は次のとおりである。



整備が進むさわやか海岸



第5代 語学指導員
マイケル・カシワギ先生

1000万円の
小口融資
預託金を追加

商工預託金として富山県信用保証協会へ小口事業の資金預託を実施している。現在の厳しい景気の低迷から中小企業者の借入金や借入件数ともに増加していることから、町が預託金を増額し、貸出しに対する保証枠の拡大をするため補正するもの。
(1000万円)

道路の
整備促進を図る

道路の拡幅・改良、舗装や水路及び側溝等の整備促進を図るため、工事費を補正するもの。
具体的には、平曾川国道線、幕ノ木小杉線など16路線の整備に充てる。
(5929万円)

防潮林用地の
確保を図る

農産物等を塩害から守るため、防潮林の要望が強い目川地区の海岸線沿いに6075㎡の防潮林造林用地を確保するため、補正するもの。
平成11年度造林計画面積は9312㎡となる。
(1377万円)

4基の
漁港灯を改修

入善漁港の安全確保のため、港内を照している4基の漁港灯が老朽化と塩害により腐蝕が激しいことからその改修の補正をするもの。
(96万円)

2学期より
語学指導員
が交替

町は財団法人自治国際化協会のあつせんにより、語学指導員を受け入れている。平成9年7月22日から現在のローレル・モブリー先生が赴任され、町の3中学校で国際化時代に対応できる生きた英語の教鞭を2年間とられた。
今回、7月28日をもって帰国され、後任のマイケル・カシワギ先生と交替されるため補正するもの。
2年間ご苦労様でした。
(88万円)

5・6年の
児童を対象に
野外教室を実施

町の小学校の5・6年生の児童を対象に、自然とふれあうことにより、自主性、協調性、創造性など、感性豊かな子ども達を育てる目的の青少年野外教室モデル事業の実施に補正するもの。
(145万円)

議案第44号

入善漁港海岸保全施設整備(その1)
工事請負契約を承認

6月議会定例会の初日(6月8日)に次の
工事請負契約を承認した。

- 1、工事項目 入善漁港海岸保全施設整備(その1)
- 2、工事場所 入善町芦崎地内
- 3、工期 平成11年6月9日から同年10月29日
- 4、請負金額 2億2050万円
- 5、請負者 広川建設工業・杉沢組 入善漁港海岸保全施設整備(その1)工事共同企業体



補欠選挙後の組織議会

一般質問

第17回定例会

町政を問う

5人の議員が登壇

6月議会の一般質問は、11日、1日間で行われた。先の県議会議員選挙にからみ、7名の町議会議員が辞職するという緊急事態。

補欠選挙か、出直し選挙か、不信感抱く町民の関心は高く、多くの傍聴者と報道陣、真の議会と信頼回復にと、質問に立った5人の議員も力が入った。

主な内容は次のとおりである

- 町政に対する基本的考え方について
- 介護保険問題について
- 町営バス運行の基本方針と今後の計画について
- 新総合計画と海洋深層水事業について
- 町活性化の促進と雇用の確保について
- 職員の住民対応の基本姿勢について
- 入札制度に関する諸問題について



町民の信頼回復をはかる入善町庁

町長の町政に関する基本的考え方を問う

元島正隆 議員（フォーラム21）

町長

初心に返り町政の執行に全力を傾注

不信感抱く、町民に、真の
議会のあり方、町政のあり
方を示せ、

問 自民党公認町長として「偏り政治」と見受けられているが、町民党として行政運営にあたる考えはないか。
米澤町長 県内自治体の首長の多くは、無所属であるが、2年前の選挙においても、自民党公認として町民多数の同意を得たところである。

ただ、自民党に属しているとはいえ、本心は「町民党」という立場で、町政執行に傾注しており、決して

一党一派に偏った考えはない。

今後とも党派にこだわらず、町民各階各層のご意見を拝聴しながら町政の執行にあたるので、ご理解願いたい。

問 入善町議会は、過去、全国町村議会議長会から2度にわたり優良議会として表彰された。誇れる議会も、先の県議会議員選挙において取り返しの出来ない不祥事件、町民の信頼回復を計る上での真の議会のあり方、町長の町政に対する政治倫理感を問う。

町長 先の県議会議員選挙からみ名称の町議会議員が辞職するという事態に至ったことは、誠に残念であ

ると同時に、私にも責任の一端があると思っており、深くお詫び申し上げます。

今後は、二度とこのようなことが起こらないよう、入善町政をあくまで、清潔な政治の実現に向けて、精一杯努力していく。議会のあり方、町政のあり方については、議員の方々は日夜奮闘されての政治倫理確立に関する特別決議をされるなど、信頼回復に努めておられ敬意を表している。

27日執行予定の補欠選挙で選ばれた議員の皆様を加えて、町と議会が一体となって、町民の負託に応えるよう、政治倫理確立に向けて全力を傾注して参る所

存である。

問 21世紀の架け橋となる、夢ある新総合計画の策定は、

町長 町民重視の、将来を見据えた新総合計画が原則と考えている。

私も初心に返り、町政の執行に当たる強い決意の中で、21世紀を展望した、町民が夢と希望もてる新総合計画を作るため、入善町総合計画審議会条例改正を行ったところであり、笑顔が水にうつる町民参加の総合計画を作っていく。

介護保険は町が責任をもつべき

九里 郁子 議員（日本共産党）

町長

保険組合と連携して対応したい。



よろこばれる町営バス

問 地域福祉の責任主体はあくまで自治体にある。一市三町の新川地域介護保険組合の担当はどこまでか。申し込みから回答まで町が責任をもって対応するか。今年度建設予定のデイサービスセンターの運営主体はどこか。来年度中に建設予定という特別養護老人ホームの計画は具体的に進んでいるか。入善町の国民年金受給者の平均月額約4万4000円で、これはひとり暮らし老人の生活保護基準額約6万5000円を大きく下回っている。入善町の介護保険料区分での第二、第三段階の住民税非課税の高齢者が、高齢者全体

（65歳以上）の75・8%である。負担は重く、未納者ができることも予想される。町独自の保険料や利用料の減免制度が必要。その考えはあるか。現在の福祉サービスは後退させないための予算措置を求める。老人保健福祉計画見直しの基本的な考え方を示せ。ホームヘルパーの雇用と身分問題、大幅増員などはしっかり取り組め。

町長 新川地域介護保険組合は基本的介護事務全般を担当。町は申告受け、相談、苦情の窓口を設置し、保険組合と連携をとりながら対応したい。現在の福祉サービスは維持したい。一市三町の調整が課題。

上田健康保健課長 デイサービスセンターの運営主体は基本的には民営。新たに社会福祉法人を設立するか、舟見寿楽苑に委託か、時間をかけて検討したい。特養ホームは12年度建設に向け用地確保に努力中。デイサービスと一体の運営を考えている。ホームヘルパーの身分については社会福祉協議会と協議中だが、整わない場合は12年度も町直営で対応したい。生計維持者が死亡、長期入院など収入が著しく激減した場合は減免できるとされている。保険組合で条例

町営バスは台数を増やせ

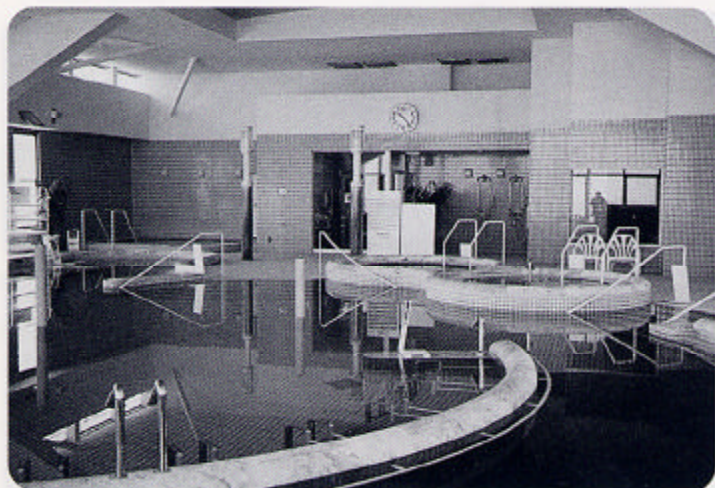
問 町営バスは、路線の増加、入善高校通学生も利用できるように台数を増やせ。利用者も参加した検討委員会を設置する考えはあるか。今後の計画と方針を示せ。

町長 乗車数は一日平均38・5人。地域の活性化、スクールバス、福祉バス等総合的に考えるため商工観光課が担当する。9月頃に町民参加の運行委員会を設置し、台数も含め検討したい。

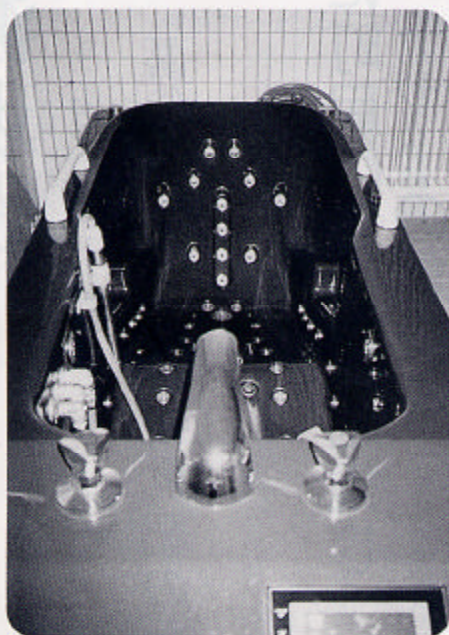
深層水事業は町と町民に どのような利益をもたらすか

五十里 隆章 議員 (新世紀の会)

町長 地域活性化の起爆剤としたい



深層水利用の健康施設 (滑川市・タラソピア)



ハイドロマッサージバス

問 海洋深層水事業について、種々の資料提供があったが、いまだ町が積極的に取り組む事業とは思えない。

入善町、町民にどのような利益をもたらすか。

町長 深層水は、どこでも取水可能とはいえない。富山湾でも黒部川河口沖が適地と言われている。

名水の町の新しい顔、新しい資源として、商業的活用を図り、地域活性化の起爆剤としたい。

問 先進地の成功事例をど

う活かすか。

町長 地域振興の視点から、経済性、維持管理などを検討する。利活用について、民間の投資誘導、施設支援したい。

問 深層水活用事業基本計画検討委員会の構成によって方向が左右されることがま、ある。権威のある委員会が求められるが。

町長 有識者、県、水産試験場など研究機関の方々にも委員もお願いしている。海洋科学技術センターの中嶋先生方の指導を仰ぎ、広報

入善によるPR、セミナー開催など、町民の理解を得たい。

問 新総合計画策定にあたって、町の将来像をどのように描くのか、米沢町長の考えている入善町のブランド・デザイン、或いはキーワードは何か。

町長 情報化に伴うネットワークシステムの構築、黒部川扇状地の恵まれた資源を生かした環境との共生をキーワードとする。
人口定住化、地域の活性化、福祉、保健、医療の充

実を図り、高いレベルで安心できる、生活の場となる町にしたい。

問 住民の声、各界各層の意見をどのように活かすか。

町長 地域づくり研究会、計画審議会など公募によるメンバー選定については、抽選とする。
各種団体からも参加を願う意見を反映したい。
来年9月までに計画案を策定し、議会に提示する予定である。



これからが人生・シニアベンチャー

キャリア生かし、生涯現役

広瀬 喜代志 議員（新世紀の会）

町長 研究、開発に町民の英知を結集してシニアベンチャーの創設を

問 高齢化社会の対策と経済活力の両立に向けた施策であり、我が町にも人生経験豊富な技術や考え方のしっかりした方が大勢おいでになり、それ等の方々の有効なる能力開発が今後重要課題となる。町民のシニアを中心とした、「入善町キャリア・メンバースクラブ」を提唱するものであるが町の考えを聞きたい。

町長 現在、我が国においては、シニアベンチャー等の育成事業があり、高齢者の知識や経験を活かした次のような事業がある。

- (1) 商品サービスの企画、生産、販売
- (2) 配送、移送、育児、介護等の相互扶助サービス
- (3) 伝統、文化の伝承、保存や異世代との交流
- (4) 情報提供サービス
- (5) 企業、団体向けコンサルティング等以上ごく一部に限られている。キャリア・メンバースクラブのような独自の登録制度について現在支援制度はないが県では平成13年より、提言に対するシニアベンチャーの創設「フレインバンク、プレインストックセンター」の

様な支援事業を考えていると聞いている。

飛田商工観光課長 シニアベンチャー制度の創設について入善町中心市街地活性化基本計画策定委員の中にも同意見の方もおいでになり積極的に検討し取組みたい。

問 教育長、町のシニアベンチャー企業育成に小、中学生の英知の参加をどう考えるか。

教育長 学校外での経験をさせることは非常に大切なことである。この機会に富山県教育委員会が主催して

いる「社会に学ぶ14歳の挑戦」という事業があり是非とも参加をさせてやりたいと思うので協力をお願いしたい。

問 教育委員長はどのような考えを持っているか。

教育委員長 テーマを決めて取り組むことが大切であり、専門的なアドバイスを受けながら、提案のシニアベンチャー企業を育成することを考え、自由なる発想を生かすべきであろう。

職員の住民への対応の 基本姿勢は

板川清治 議員 (民政会)

町長 「明るく・親切・丁寧」をモットーに指導している



住民サービスにつとめる窓口

職員の管理と綱紀について

問 職員の交通事故に対する自粛、自制の手段、処分の公平性を考えれば「処分基準」を制定すべきではないか。

町長 交通事故は発生時の環境、状況、過失の割合など千差万別であるので基準を設けるのは、困難でなからうかと考えている。

鬼原総務課長 若干、難しい点はあるが懲戒委員会を開いて、このような問題についても今後研究していきたい。

たい。

問 職員の住民への対応について

町長 明るく・親切・丁寧をモットーに接客するよう指導している。

公平で公正な信頼される行政をめざして、町民の立場に立った対応を心掛けるよう指導していきたい。

総務課長 住民との間で大きなトラブルが発生した場合、町長まで報告してもらおう、つまり上申書に当たるものかと思うが解決に努めている。

今後、上申書のことについても、十分意見を参考にしていきたい。

入札制度に関する諸問題について

問 最近の町発注工事で落札価格が、予定価格より従来に比して低額傾向にあるがその要因をどう分析しているか。

林財政課長 国県等の公共工事や民間工事の発注件数が減少し、業者の受注機会が減少したこと。また企業努力により価格差が生じたものと判断している。

問 工事に関する予算案の策定時、将来、検討すべき課題はないか。

財政課長 事業の投資効果、効率性など見極めながら事業の再評価をしていくことが、今後の重要な検討課題だと思っている。

問 地元業者への発注と雇用対策について

町長 できれば地元業者に少しでも、仕事をして頂ければと思っている。

財政課長 地元業者への発注は大原則であるが、特殊なものや舗装等は近隣市町の業者に発注している。

建築設計については、小規模なものは町職員がいるので、近年殆んど外注していない。

今年度建設予定の野中消防屯所は、地元業者に発注したいと考えている。

レポート

6月14日・15日の2日間、総務・教育福祉環境・産業経済の各常任委員会が開催され、付託案件を審議した。

以下、各常任委員会の要旨を報告する。

総務

入善町国民健康保険税減額への条例改正を評価

所得制の率を8%から7%に引き下げる国民健康保険条例の一部を改正する条例は、一人当たり約11,000円ほど安くなることから、国保会計の実態に添う改正と受け止め、不況下にあつて時宜を得た改正と評価する。

将来を見据えた入善町総合計画審議会条例改正に期待

町民参加、町民重視の総合計画審議会を目指すことが原則である。多くの町民の意見を聞

き、これからの入善町のあり方というものをしっかりと受け止めて、21世紀に向けた、新しい町づくりの展望を期待する。

積極的な小口預託金制度の拡充

近年、経営が大変厳しい状況下にある中で、経営が立ち直る、あるいは再生できるような形での有効活用が大切である。これからも関係機関と連携をとって、総合的な制度の普及と、きめこまかな政策を望む。

教育 福祉 環境

緊急通報装置設置扶助費 25台分増額

超高齢化社会を迎えている今日、一人暮らしの高齢者あるいは身体障害者への生活や人命を守るため、今後とも実態にあつた積極的な対策を望む。併せて、町民全体の生命、財産を守る防災無線も含んだ総合的な緊急システムの導入についても検討するよう要請する。

保育所行政の在り方、児童センターの管理については十分に検討する必要がある。

保育所への入所選択が可能になったこと等踏まえ、少子化社会に対応した保育士の人員配置問題や保育所統廃合など、抜本的な改革を検討する必要がある。

また、児童センターについては、一日80人の利用者があり、建設目的が達成されていると判断できるが、今後利用者が増加すれば管理体制の見直しが必要であり検討を望む。

語学指導、教育相談事業のより一層の充実を望む

国際化の社会において生の英語教育は必要であり、今後とも是非続けていくことを望む。

教育相談についても、件数が増えていることから、悩める生徒に大きな愛の手を差し伸べて頂きたい。

みなさんの請願・陳情のゆくえ

今定例会に提案された陳情2件の審査結果は、次のとおりである。

○農道12号線「柵山用水沿い」の舗装についての陳情書……………採択

○堆きゆう肥処理に対する陳情書…主旨採択

常任委員会

産業 経済

入善浄化センターの建設工事委託を日本下水道事業団に発注

公共下水道は平成14年度より一部供用開始を目指し浄化センター（汚水処理場）の建設に取りかかる。

日本下水道事業団は建設大臣の認可法人であり、工事委託メニューは

- ①優れた施設の建設
 - ②技術職員の増員回避
 - ③建設後の維持管理体制継承
 - ④補助金事務の円滑化
- 等であり委託について特に異存はなく合理的と認めらる。

しかし、設計内容、管理内容、単年度毎の委託金の精算等のチェックが勿論必要であり当局に強く要望する。

また、地元業者育成の観点に立ち、工事施行参加ができるよう事業団に考慮することを申し込まれた。

農業新規担い手確保対策、規模拡大支援事業の成功を

農業の担い手の高齢化が進展する一方で新規就農者数が減少しており、意欲ある若い農業者等の育成確保が重要になっている。今回、

当町の若者3名（20歳～25歳）に農業機械、施設等の整備支援をされることは、産業基盤である農業振興に明るい対策として大いに評価できる。

この事業が成功するよう関係者の協力を強く望む。

商工業振興事業、小口融資預託金を追加、有効利用に関係者の協力を

景気回復の見通しがない現在、中小商工業経営は非常に厳しい状況が続いている。銀行の貸し渋り等による資金不足で倒産する

企業は珍しくない。当町の中小企業においても例外ではなく、貸付金の出資は時宜であり、商工業振興策として大いに評価する。

利用者の利便をはかるよう、当局、関係者のきめ細かな指導、支援を望む。

道路整備の促進を重点政策に

町政懇談会の要望事項や陳情、請願の大部分が道路、水路の整備物件であり、今回補正で10路線の対応があったことは、評価できる。

しかし、生活に密着した環境整備の要望が多いため、今後一層の予算化に重点を置くことを望む。

「政治倫理確立に関する特別決議」

4月の富山県議会議員選挙における公職選挙法違反事件により、町民への議会に対する信頼を著しく失墜させたことは、議会として誠に遺憾であり町民に深くお詫びするとともに、深く反省しなければならない。

住民全体の代表者としての責任において、町民の負託に応えるべく、議会人としてのモラル向上と政治倫理確立に努め、清潔で公正な議会活動を実践し、もって住民福祉の向上と民主的な町政の進展に寄与するため政治倫理確立に関する特別決議を全会一致でした。

政治倫理確立に関する特別決議

此の度、富山県議会議員選挙に際し、公職選挙法違反事件が発生したことは誠に遺憾であり、深く反省しなければならない。

しかも、多くの現職町議会議員が関与していた事実は言語道断であり、議会に対する信頼を著しく損なった事を改めてお詫びする。

地方分権時代を迎え、議会の責任が一層重くなる今日、公職選挙法を遵守し、政治資金規正法に違反しないよう、議員個人のモラルの向上と政治倫理確立に向けて、これまで以上に研鑽することを誓うものである。

失墜した信頼を回復するため、不断の努力はもとより、議会一丸となって住民福祉の向上に邁進することを決議する。

議長 大林 政雄 議員
副議長 本多 幸男 議員

就任のごあいさつ



議長 大林 政雄

去る5月28日、議会臨時会におきまして、議員各位のご推挙により、議長の要職に就任いたしました。さらに補欠選挙後、初の組織議会で改めて議員全体の承認を賜ったところであります。

我が入善町議会は失墜した信頼をどのように回復するか焦眉の急と認識しており、全議員が協力し、「主権者は町民」の原点に立ち返り、新世紀に向けた重点施策に取り組む所存であります。町民各位のご叱正、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



副議長 本多 幸男

このたび、議員各位のご推挙により副議長の要職に就任することになりました。身に余る光栄でございますが、もとより浅学非

才の身をわきまえ、議長の補佐役が務まるよう精励する所存であります。公正、公平を旨としまして、町民各界各層の少数意見も行政に反映できるように、不偏不党の精神で渾身の努力を傾注する決意であります。諸先輩をはじめ、町民各位のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

7人の新議員紹介

7議員の辞職に伴う補欠選挙は6月22日告示、27日投票で新議員が決まった。任期は28日から2001年(平成13年)10月29日まで。



1番 松澤 孝浩 議員



2番 松田 俊弘 議員



3番 上田 健次 議員



4番 大橋美椰子 議員



5番 山下 勇 議員



6番 長谷 友義 議員



10番 東狐 和 議員

7月8日 組織議会で

各委員会構成決まる

総務常任委員会 6名

委員長 11番 元島 正隆
副委員長 5番 山下 勇
委員 2番 松田 俊弘
委員 3番 上田 健次
委員 15番 五十里隆章
委員 18番 大林 政雄

産業経済常任委員会 6名

委員長 9番 谷 昌典
副委員長 6番 長谷 友義
委員 1番 松澤 孝浩
委員 4番 大橋美椰子
委員 16番 板川 清治
委員 17番 九里 郁子

教育福祉環境常任委員会 6名

委員長 7番 谷口 一男
副委員長 10番 東狐 和
委員 8番 上野 等
委員 12番 西尾 政巳
委員 13番 広瀬喜代志
委員 14番 本多 幸男

議会運営委員会 7名

委員長 15番 五十里隆章
副委員長 17番 九里 郁子
委員 6番 長谷 友義
委員 7番 谷口 一男
委員 9番 谷 昌典
委員 11番 元島 正隆
委員 16番 板川 清治

特別委員会

◆下水道対策特別委員会

委員長 16番 板川 清治
副委員長 8番 上野 等
委員 2番 松田 俊弘
委員 3番 上田 健次
委員 5番 山下 勇
委員 14番 本多 幸男
委員 18番 大林 政雄

◆議会広報編集特別委員会

委員長 14番 本多 幸男
副委員長 11番 元島 正隆
委員 4番 大橋美椰子
委員 7番 谷口 一男
委員 9番 谷 昌典
委員 17番 九里 郁子

◆ふれあい交流プラザ建設対策特別委員会

委員長 13番 広瀬喜代志
副委員長 4番 大橋美椰子
委員 7番 谷口 一男
委員 8番 上野 等
委員 9番 谷 昌典
委員 10番 東狐 和
委員 11番 元島 正隆

◆新川広域圏事務組合議会議員

議員 13番 広瀬喜代志
議員 15番 五十里隆章
議員 18番 大林 政雄

◆新川地域介護保険組合議会議員

議員 9番 谷 昌典
議員 17番 九里 郁子
議員 18番 大林 政雄

◆交通網対策特別委員会

委員長 17番 九里 郁子
副委員長 6番 長谷 友義
委員 1番 松澤 孝浩
委員 7番 谷口 一男
委員 9番 谷 昌典
委員 12番 西尾 政巳
委員 15番 五十里隆章

◆議会選出監査委員

西尾 政巳

公共工事に係る入札制度改善

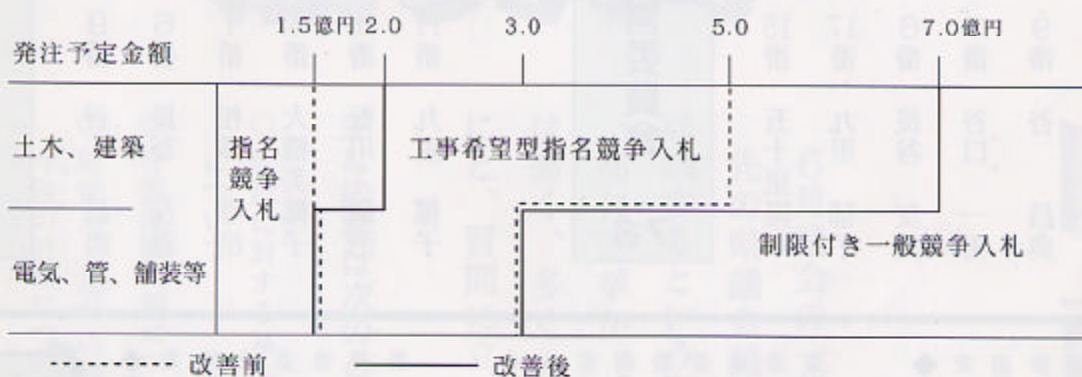
入札制度の改善について

平成9年5月暫定的に入札制度が試行されていたが平成10年12月に「ふれあい交流プラザ」（仮称）の工事発注に際し、曖昧な入札方法が示されたので、透明性、公平性の確保を議会が要望し、今回入善町入札制度改善検討委員会で改善案が提案され、議会が承認した。平成11年4月1日より実施。

制度の改善概要（公共工事）

1. 制限付き一般競争入札
 - 一般土木及び建築工事
 - 入札予定価格7億円以上
 - 電気、管、舗装等の工事
2. 工事希望型指名競争入札
 - 一般土木及び建築工事
 - 入札予定価格2億円以上7億円未満
 - 電気、管、舗装等の工事
3. 入札参加業者の公表
 - 指名通知後速やかに公表
4. 入札予定価格の公表
 - 契約締結後に公表

入札制度改善前と改善後の比較



入札方式（解説）

1. 「制限付き一般競争入札」
 - 一般競争入札では誰でも参加できる無制限の「一般競争入札」もあるが、この方式では施工能力に欠ける者が落札して、公共工事の質の低下等をもたらす恐れがある。
 - 参加資格としては
 - ① 欠格要件に該当しないこと。
 - ② 資格者名簿に登録されていること。
 - ③ 経営事項審査に基づく点数が一定の点数以上であること。
 - ④ 個別工事に係る技術的な条件を要件としている。
2. 「工事希望型指名競争入札」
 - 「意向確認型指名競争入札」の試行を踏まえ、建設業者が、資格審査のとき申し出た希望する工事の内容、及び、工事の規模、地域的特性等を勘案し、技術資料の提出を求める者を10、20社程度選択し、業者から提出された技術審査の資料を踏まえ、指名業者を10社程度選択する方式。

新入札制度による 入札結果

工事名	請金 金額	予 定 格 額	応札 回数	落札率 %	請負業者	入札方式
ふれあい交流プラザ 建築主体工事	万円 87,000	万円 99,151	1	87.7	フジタ、 中山建設 JV	制限付き一 般競争入札
ふれあい交流プラザ 電気設備工事	25,900	26,052	1	99.4	北陸電気工事 米沢電気商会 JV	工事希望型 指名入札
ふれあい交流プラザ 空調設備工事	24,900	25,705	1	96.9	テクノ菱和、 上田管工事工業所 JV	工事希望型 指名入札
ふれあい交流プラザ 給排水衛生設備工事	14,480	15,231	随契 3	95.1	吉枝工業、 吉田工務店 JV	工事希望型 指名入札
入善漁港海岸整備工事	21,000	22,007	2	95.4	広川建設工業	工事希望型 指名入札
黒東小学校大規模 改築工事	14,800	16,760	1	88.3	吉原建設	指名競争入 札
芦崎保育所 改築工事	11,140	12,861	1	86.6	(株)野島製材所	指名競争入 札
桃李小学校プール 建設工事	6,600	6,792	2	97.2	広川建設工業	指名競争入 札
計	205,820	224,560		平均 91.6		

指名格付け基準、発注基準

等級	格付け総合点数	発注金額区分	格付け 業者数
A	800点以上	3,000万円以上	15社
B	700点以上800点未満	1,500万円以上 3,000万円未満	16社
C	600点以上700点未満	500万円以上 1,500万円未満	15社
D	600点未満	500万円未満	23社

入札制度改善後の入札結果は左表の通りである。競争原理が十分生かされた工事落札が見られる。また、落札率においても、平成8年度平均97・4%、平成9年度平均95・2%、平成10年度平均95・3%であったが平成11年4月～6月までの主要工事の平均が91・6%と自由競争が如実にあらわれている。しかし、直接工事費以下の落札があるので、今後の検討課題である。

また、議会としても常にチェック機能を発揮し、透明性、公平性を追求する。

各種団体からひとこと

入善手話サークル

「こぶしの会」会長

青木紀行さん



手話を通してろうあ者と健聴者が交流し、心と心の触れ合いを大切にしながら、地域に根ざした活動を繰り広げる手話サークル「こぶしの会」。今年で誕生20年目になります。

当初11人の会員で始めた活動も、現在では小学生から60歳代まで、幅広い年代から40名余りが集まる大きな輪となりました。毎週行う勉強会やレクリエーション活動、講習会のほかに、会員は各地域で行

われる手話講習会などの講師として、また、ろうあ者から依頼があれば、通訳など活発な活動をしています。

先日、入善町消防署の協力を得て、心肺蘇生法の実技指導を受けました。

救急車が到着するまでの空白の5分間に行う救急処置の大切さを、また、救急救命をより充実させるためには、医療機関だけでなく、救急隊による患者搬送や、一般町民も参加したプレホ

スピタルケアも重要なポイント。救命救急は、町民、救急隊、医師による命のり

の第一走者は、自分自身であることを再認識して欲しい。そんな願いを込めて、ろうあ者を対象に講習会を開きました。ろうあ者を対象にした緊急救命講習は、入善消防署始まって以来だそうです。

また、消防署には、緊急用のFAXがないのと、せひ取り付けてほしい

と思います。全国の難聴者、ろうあ者人口は48万人、富山県は6千人であります。そのうち入善町では200人とけっして少なくありません。

私達グループの願いは、医療機関や、企業、町の施設などに一人は手話のできる人がいる社会、身体にハンディを持った人達が安心して暮らせる社会がいち早く実現できればと活動に力が入ります。

（編集部より）FAXは6月補正で予算化し7月1日に設置しました。番号は7210937です。

自負していたはずが、先の県議会選挙において7名が辞職するといった入善町始まって以来の不祥事。町民信頼を失墜した大変な統一地方選挙であった。

補欠選挙か、出直し選挙かで議会が揺れ、6月議会本会議、投票に於いて補欠選挙となった。

☆6月27日町政の信頼回復にと新議員7名が誕生し、再スタートを切った。政争のない、町民本意の町づくり、全議員、力を結集して信頼回復につとめることをお誓いするとともに、過去全国町村議長会で表彰された議会であったように、いち早く正常化を取り戻し、町民福祉の向上に精励することを肝に銘じ、編集後記とする。

傍聴席からひとこと



城崎裕美さん

（若栗新）

議会を傍聴するのは初めてなので、とても緊張しました。しかも始めの内容が、入善町民が最も関心を持っている「補欠選挙」か「出直し選挙」か、の決定ということ、本当に貴重な体験でした。

傍聴させていただいて、まず感じたのが、町長という仕事は町民の想いを一身に受けて、とても大変なのだ、ということでした。今までは、町長が町民のために何かをするのは当たり前だと自然に思っていました。でも、大変な責任を背負って、他の議員と協力しながらやっていくのは

どれだけ難しいことなのかが伝わってきました。

傍聴しているうちに、自然と、町長と自分を重ね合わせて見ていました。町長と同様、私が今就いている保育士という仕事も大変責任のあるものだと痛感しています。だからこそ、他の先生方と協力しながら、もっと自分を磨いて、よりよい保育士になりたいな、とあらためて思いました。

最後に私の要望として、日曜日開催など、もっと誰もが傍聴しやすい議会になることを願います。

編集の窓

☆全世界の人々が「人類滅亡」を予言しているノストラダムスの予言書に注目している、歴史の事件を過去の中している中で不気味な1999年7月を終えようとしている。

☆平成9年10月、新町長、新議員が選ばれ「主権在民」を忘れることなく町発展にと襟を正して激論を交わす議会であったと

議会広報編集特別委員会

- 委員長 本多 幸男
- 副委員長 元島 正隆
- 委員 大橋美椰子
- 委員 谷 昌典
- 委員 谷口 一男
- 委員 九里 郁子